



^13
3858
3

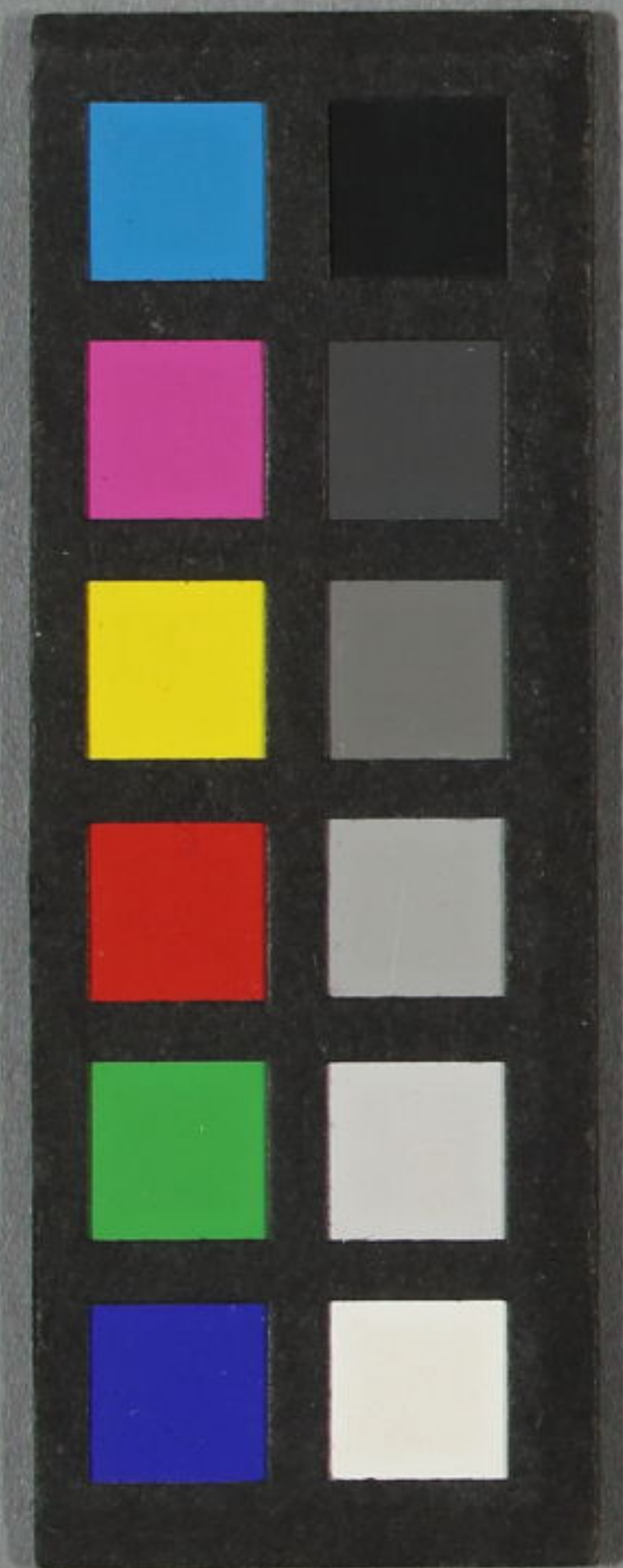


^13
3858
2



^13
3858
1





上之巻

佐野

外題 國貞也

~13
3858
1



錦の蜀江の水の協ひ染糸の大江戸の水を合て写本を傳ゆ江戸此糸を婦人の
 貴意みかろひ流布を致すは聴けり余所の戀よと羨しく於輕のときで
 襦袢は質本も夜目初差るり字性も臆思ひ付る若眼鏡出で写て読取
 文章早た情合と濃染糸の染るし物ゆて色も一入深なれその興久く醒るる
 りん茲み若に江戸染も江戸紫の色に所縁てお組総次郎の名を假つ百色
 染と共侶の行きては鮮拾洗塵子の昔染染今めり外題の地漬摺込
 時節も時雨を脱逃せりよに上と難まど是も作者が好めてお慰めものまじとふ

乙未の初春

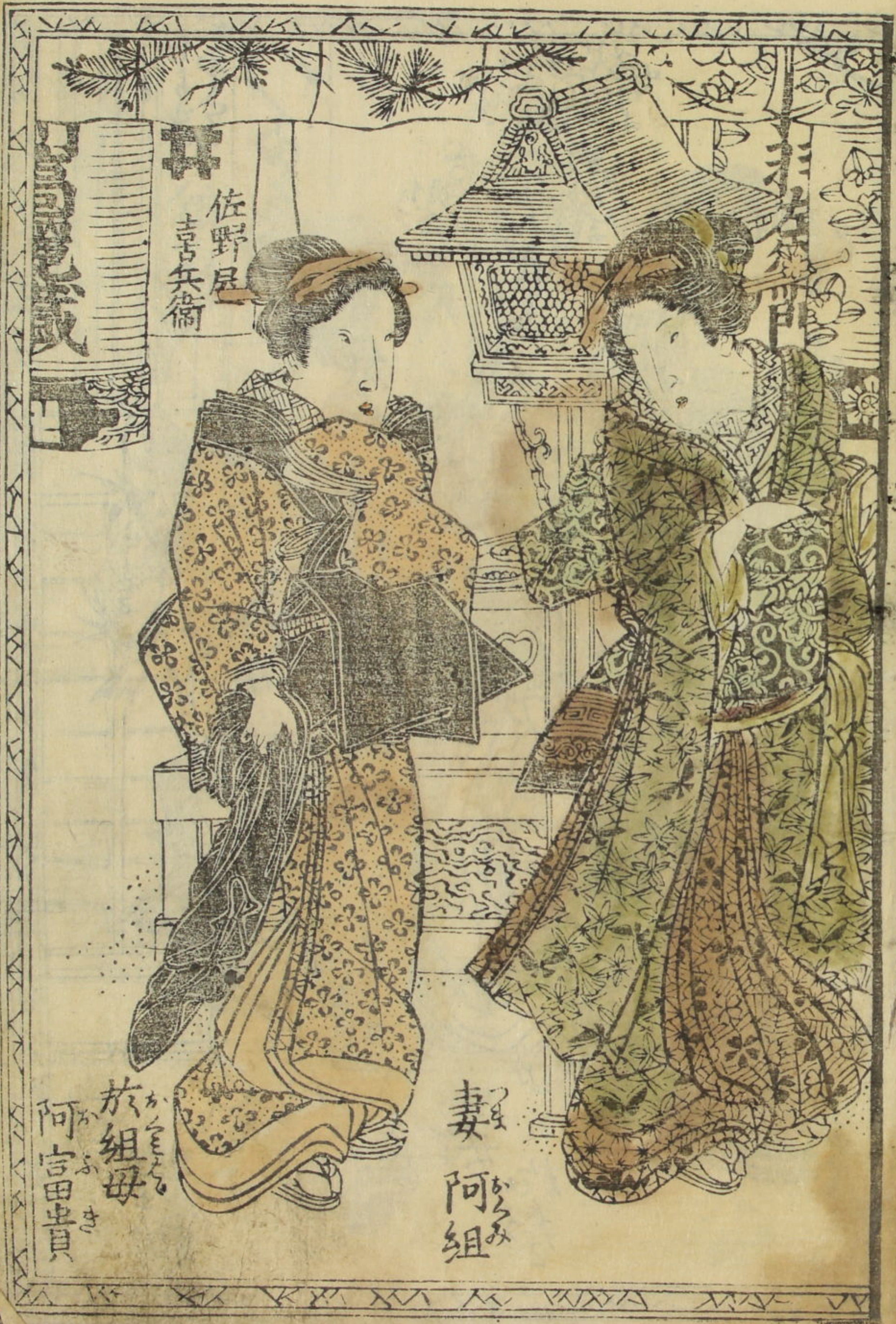
墨川亭雪麻呂記



黄泉画

宿心々空屋
 栄屋王内
 幾代

佐野堂





梅の
あ

梅松屋
娘
阿雪

都屋
阿外面



つる
あ
船病

下女
於春

子
世之助

あ
あ
あ



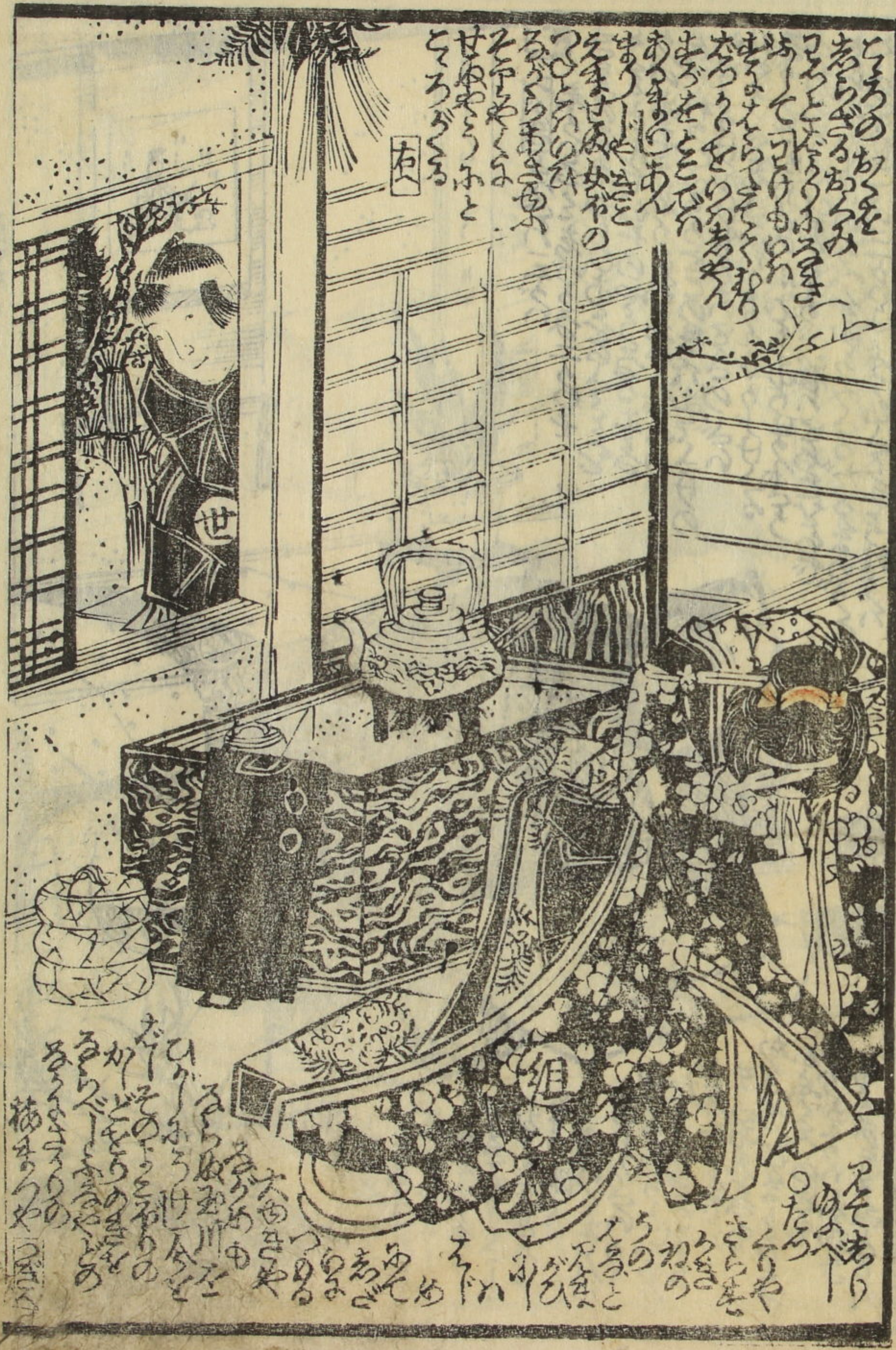
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ

春
組
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ



おひさまのひかりを
いそいでかきよめ
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ

徳
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ
おひさまのひかりを
いそいでかきよめ



左
 こころのあはれを
 あらわすおらみ
 こころのあはれを
 あらわすおらみ
 まよふとらとまよふ
 大層のものをあはれ
 まよふとらとまよふ
 あるまじいあはれ
 まよふとらとまよふ
 ついでにあはれ
 るからあはれ
 甘んぢるあはれ
 甘んぢるあはれ

大層のものをあはれ
 まよふとらとまよふ
 あるまじいあはれ
 まよふとらとまよふ
 ついでにあはれ
 るからあはれ
 甘んぢるあはれ
 甘んぢるあはれ



右
 こころのあはれを
 あらわすおらみ
 こころのあはれを
 あらわすおらみ
 まよふとらとまよふ
 大層のものをあはれ
 まよふとらとまよふ
 あるまじいあはれ
 まよふとらとまよふ
 ついでにあはれ
 るからあはれ
 甘んぢるあはれ
 甘んぢるあはれ

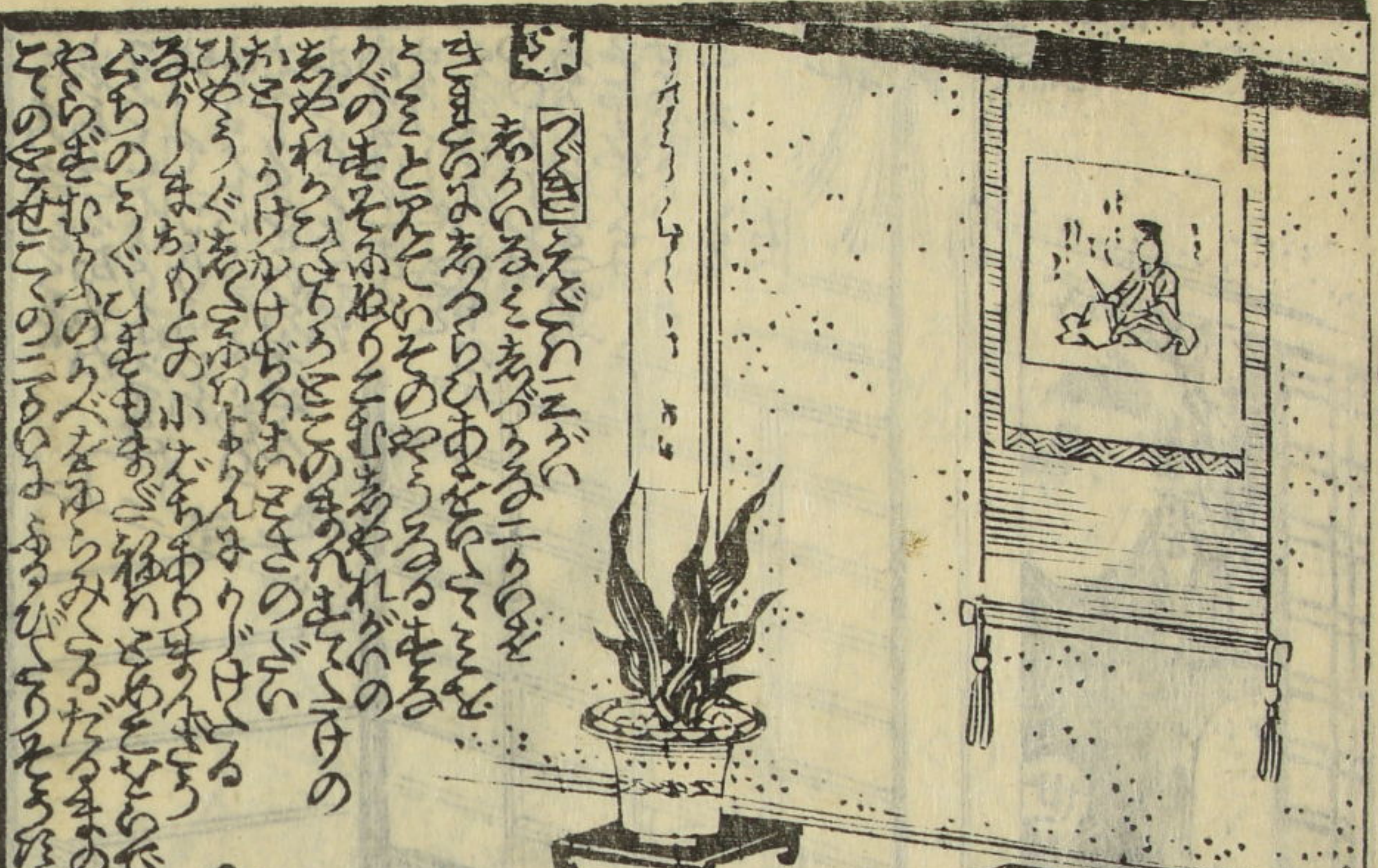
右
 こころのあはれを
 あらわすおらみ
 こころのあはれを
 あらわすおらみ
 まよふとらとまよふ
 大層のものをあはれ
 まよふとらとまよふ
 あるまじいあはれ
 まよふとらとまよふ
 ついでにあはれ
 るからあはれ
 甘んぢるあはれ
 甘んぢるあはれ



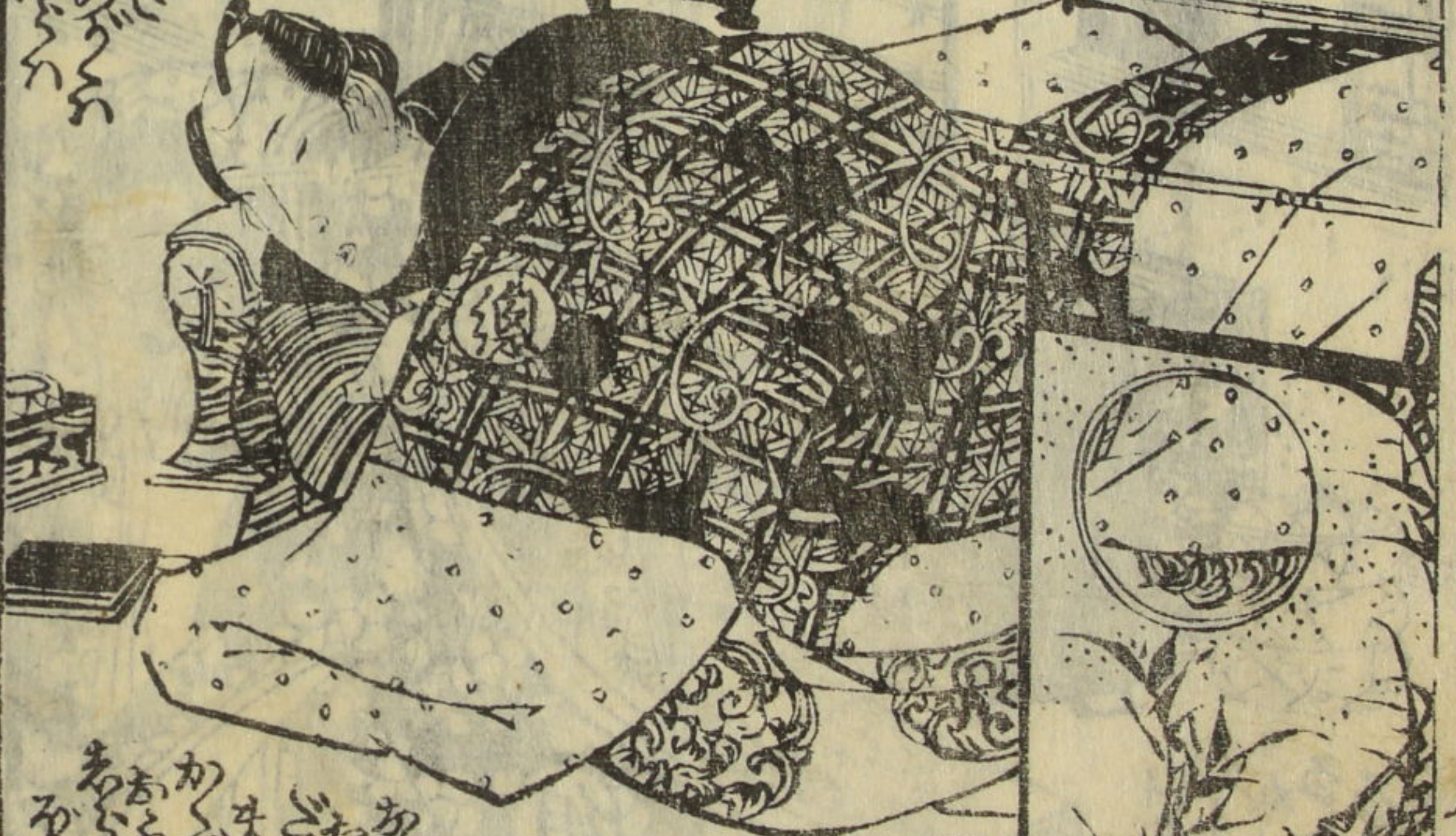
どのおもひのうらみか
 つひよりあるドミとめりー
 けさうのうらみか
 まくらにのりてはけの
 りひをかーくまらな
 たをがれとてしよ
 上のおあんとも
 のこるるかへう
 うのりのけてはけの
 けすめ

どのおもひのうらみか
 つひよりあるドミとめりー
 けさうのうらみか
 まくらにのりてはけの
 りひをかーくまらな
 たをがれとてしよ
 上のおあんとも
 のこるるかへう
 うのりのけてはけの
 けすめ

あれがうらみか
 どのおもひのうらみか
 つひよりあるドミとめりー
 けさうのうらみか
 まくらにのりてはけの
 りひをかーくまらな
 たをがれとてしよ
 上のおあんとも
 のこるるかへう
 うのりのけてはけの
 けすめ



どのおもひのうらみか
 つひよりあるドミとめりー
 けさうのうらみか
 まくらにのりてはけの
 りひをかーくまらな
 たをがれとてしよ
 上のおあんとも
 のこるるかへう
 うのりのけてはけの
 けすめ



あれがうらみか
 どのおもひのうらみか
 つひよりあるドミとめりー
 けさうのうらみか
 まくらにのりてはけの
 りひをかーくまらな
 たをがれとてしよ
 上のおあんとも
 のこるるかへう
 うのりのけてはけの
 けすめ

どのおもひのうらみか
 つひよりあるドミとめりー
 けさうのうらみか
 まくらにのりてはけの
 りひをかーくまらな
 たをがれとてしよ
 上のおあんとも
 のこるるかへう
 うのりのけてはけの
 けすめ



此の世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 やゆらぐらぬらぬら
 この世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 の世に生れしものも

此の世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 やゆらぐらぬらぬら
 この世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 の世に生れしものも

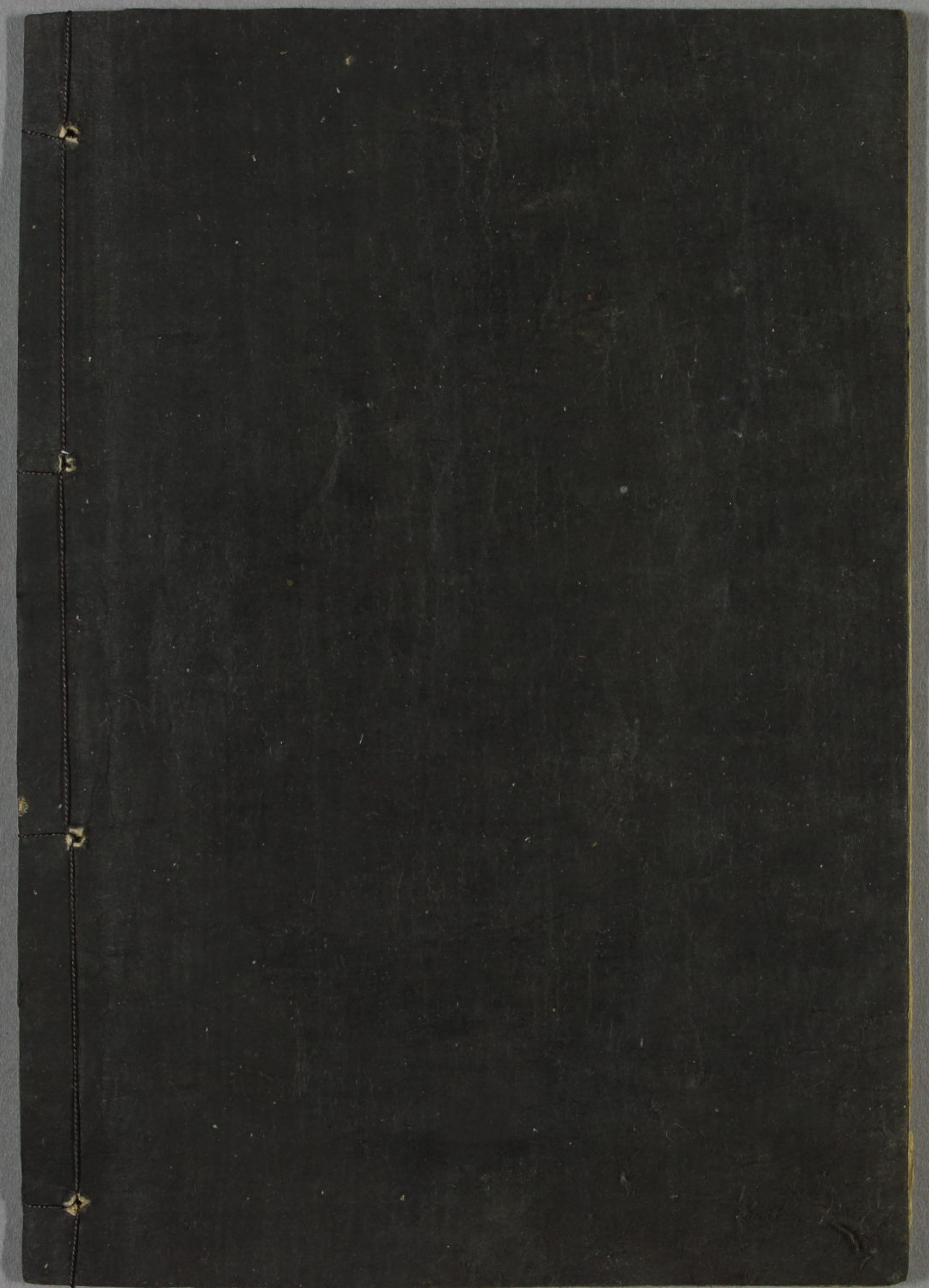


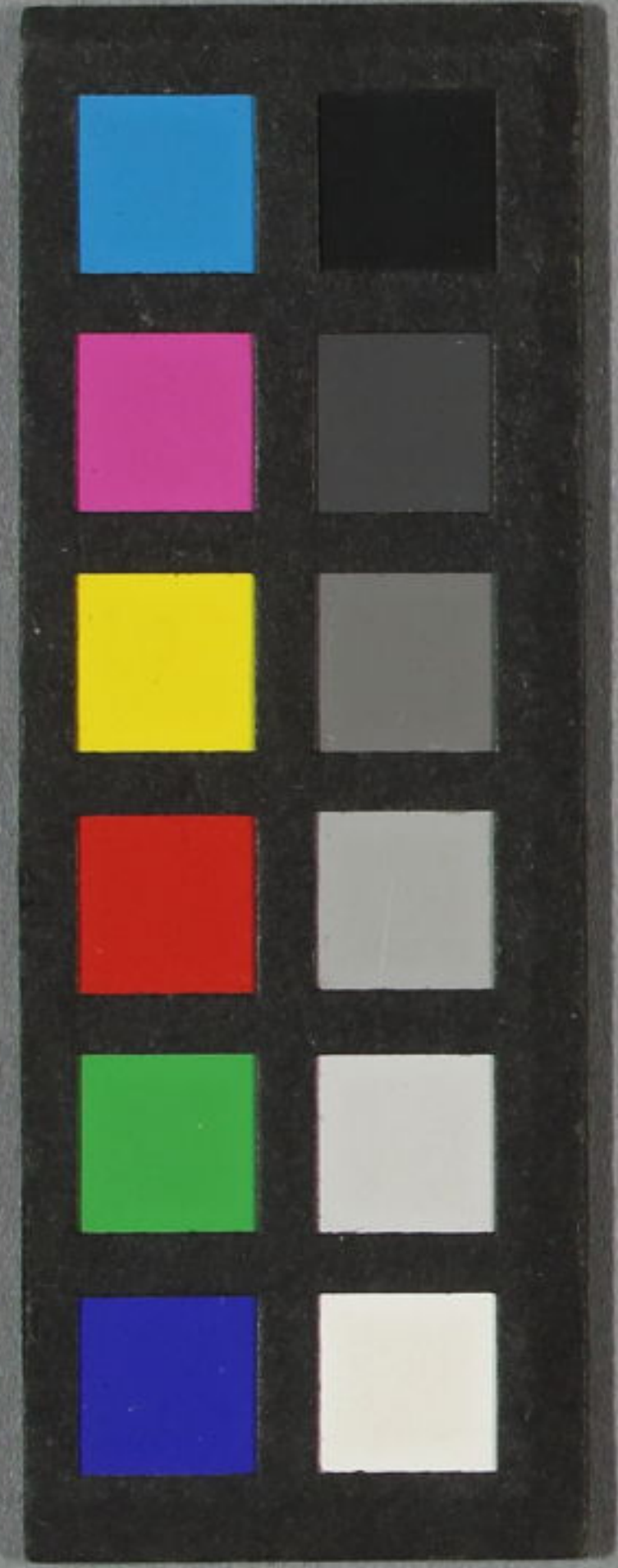
此の世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 やゆらぐらぬらぬら
 この世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 の世に生れしものも

此の世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 やゆらぐらぬらぬら
 この世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 の世に生れしものも

ひろせあるひん
 ひろせあるひん
 ひろせあるひん
 ひろせあるひん
 ひろせあるひん

此の世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 やゆらぐらぬらぬら
 この世に生れしものも
 死ぬる時は必ずある
 の世に生れしものも





天保
乙未
中巻 新刊

梅子

千代喜
梅子

^13
3858
2



つと三あけませうと
とゆふつはあふや
あふやあふや
あふやあふや
あふやあふや
あふやあふや

左は大おせとあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや



あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや

あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや

あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや



あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや
あふやあふやあふやあふや

あふやあふや

あふやあふや

左の上方 左の上方の...
 右の上方 右の上方の...
 中央 中央の...
 左の下方 左の下方の...
 右の下方 右の下方の...



左の上方 左の上方の...
 右の上方 右の上方の...
 中央 中央の...
 左の下方 左の下方の...
 右の下方 右の下方の...



左の上方
 右の上方
 中央
 左の下方
 右の下方

左の上方
 右の上方
 中央
 左の下方
 右の下方



あひのちのふとさうしてたうらつら
 めつとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと

ちりけちりけとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと

煮豆燃豆箕豆在釜
 中泣本是同胞生相

燕竹古急



下のお盆の
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと

いぬいと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうと

雪子磨作

英泉画



ついでにゆき子の話をしなさい
ゆき子もいそいそとくんとして
ゆき子の話をききながら
ゆき子もいそいそとくんとして
ゆき子の話をききながら

あつきのあつきのけ
まをききながら
あつきのあつきのけ

▲あつきのあつきのけ
まをききながら
あつきのあつきのけ
まをききながら
あつきのあつきのけ

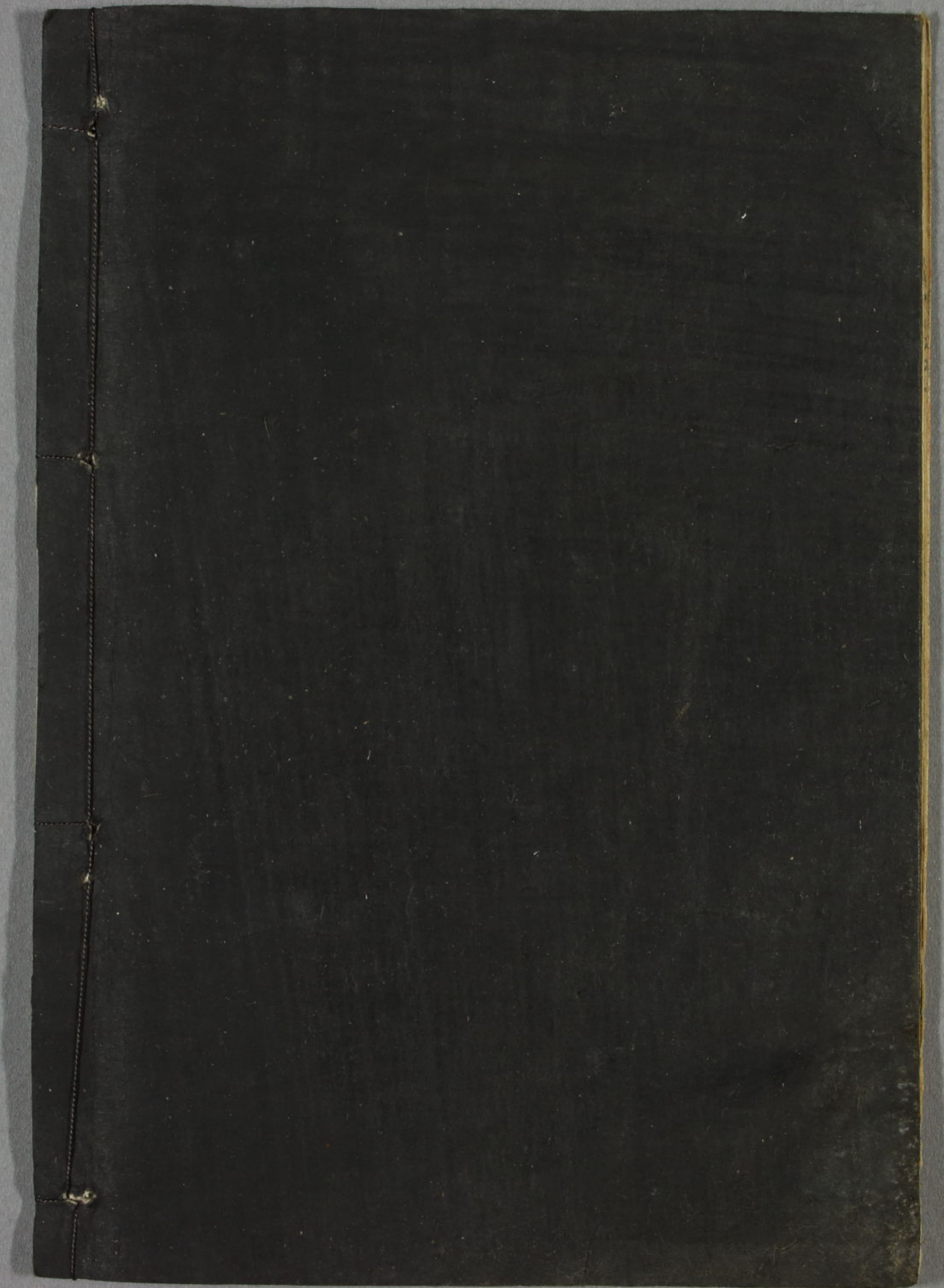
寐小便の大奇薬

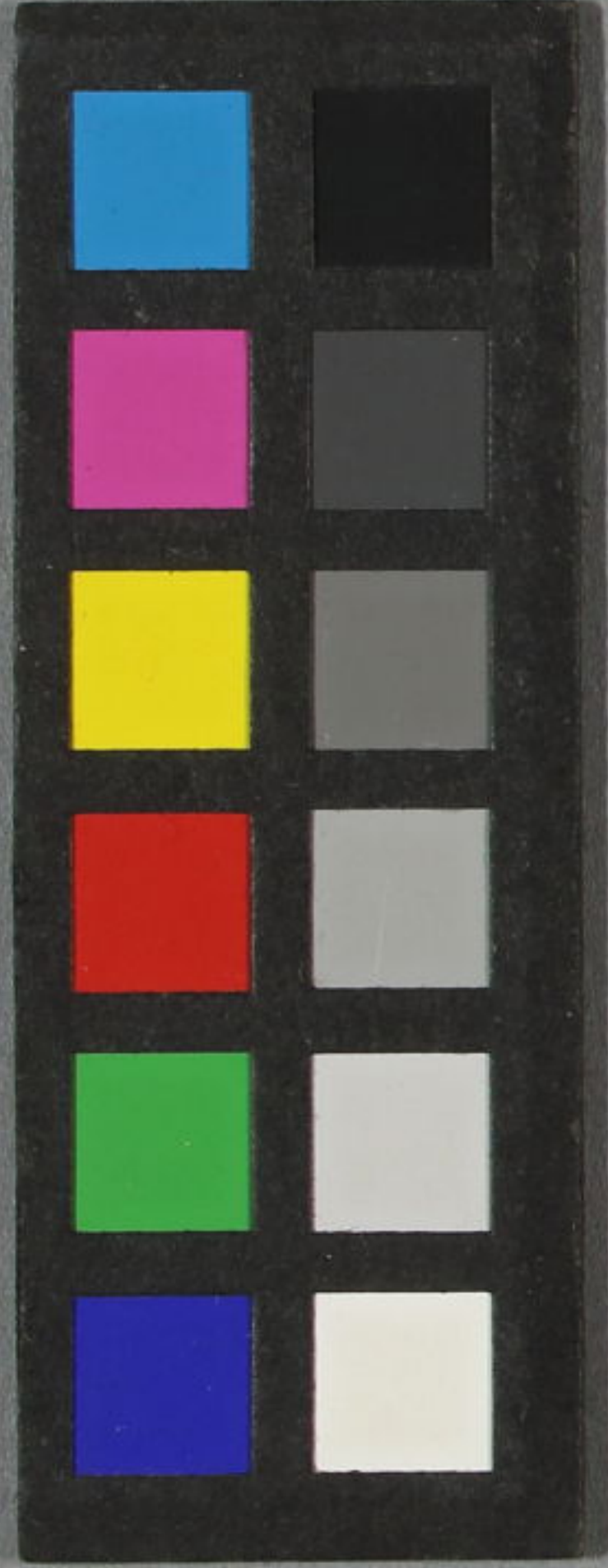
一包代銭三百銅

此奇薬はいくほど年久後病癒すても大人小兒男女よ
りては下包にて治るる奇薬といふ人妙といひんは
徳人の如くにも用ひし人も治るるといふ人の家へ傳へ
のりては下包にて治るる奇薬といふ人妙といひんは
徳人の如くにも用ひし人も治るるといふ人の家へ傳へ

本家調合所

江戸中橋廣小路町
書物屋 北林堂 西宮弥兵衛





乙未 新版

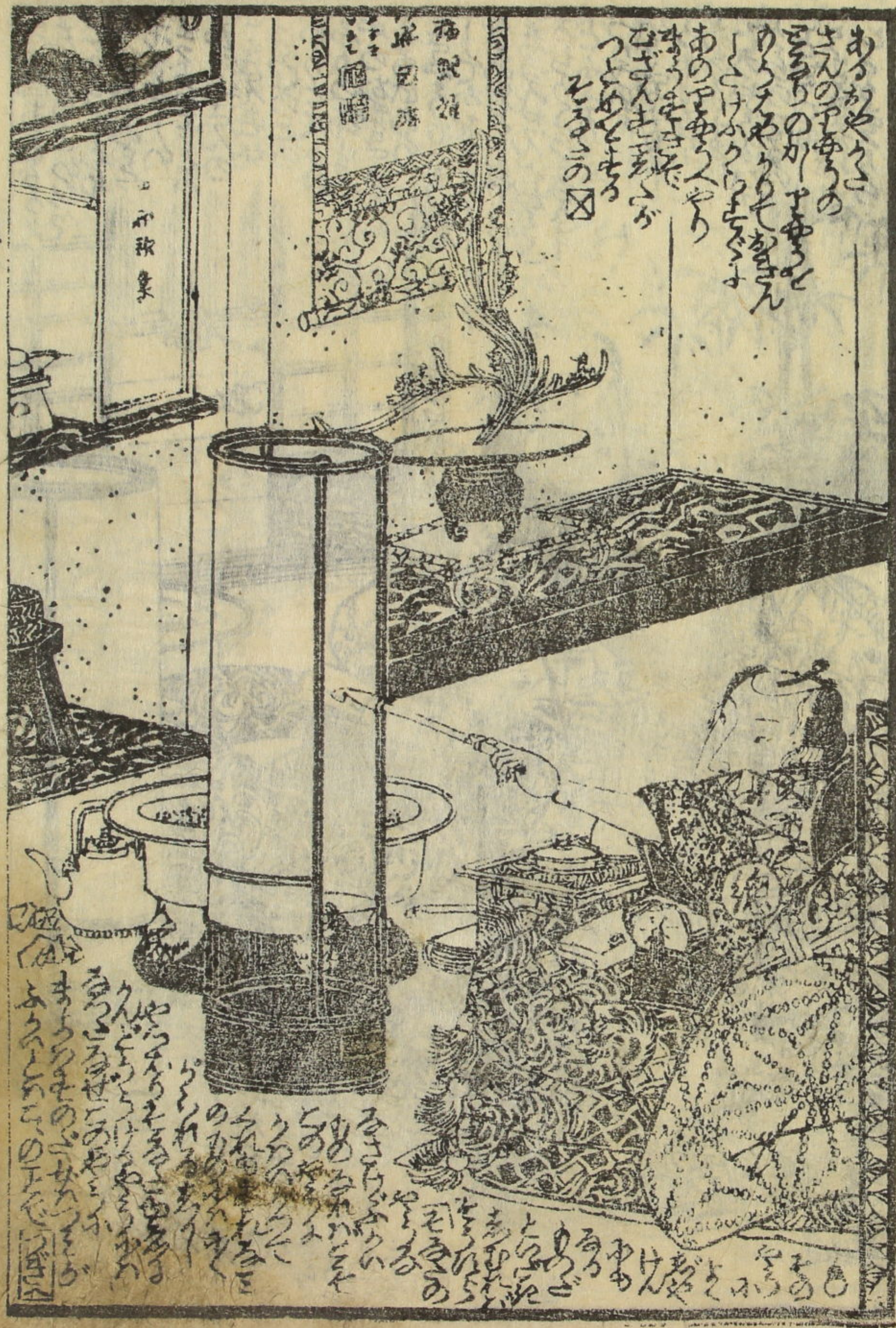
下之巻

外題 國貞画

墨月亭雪麿作
溪齋英泉画

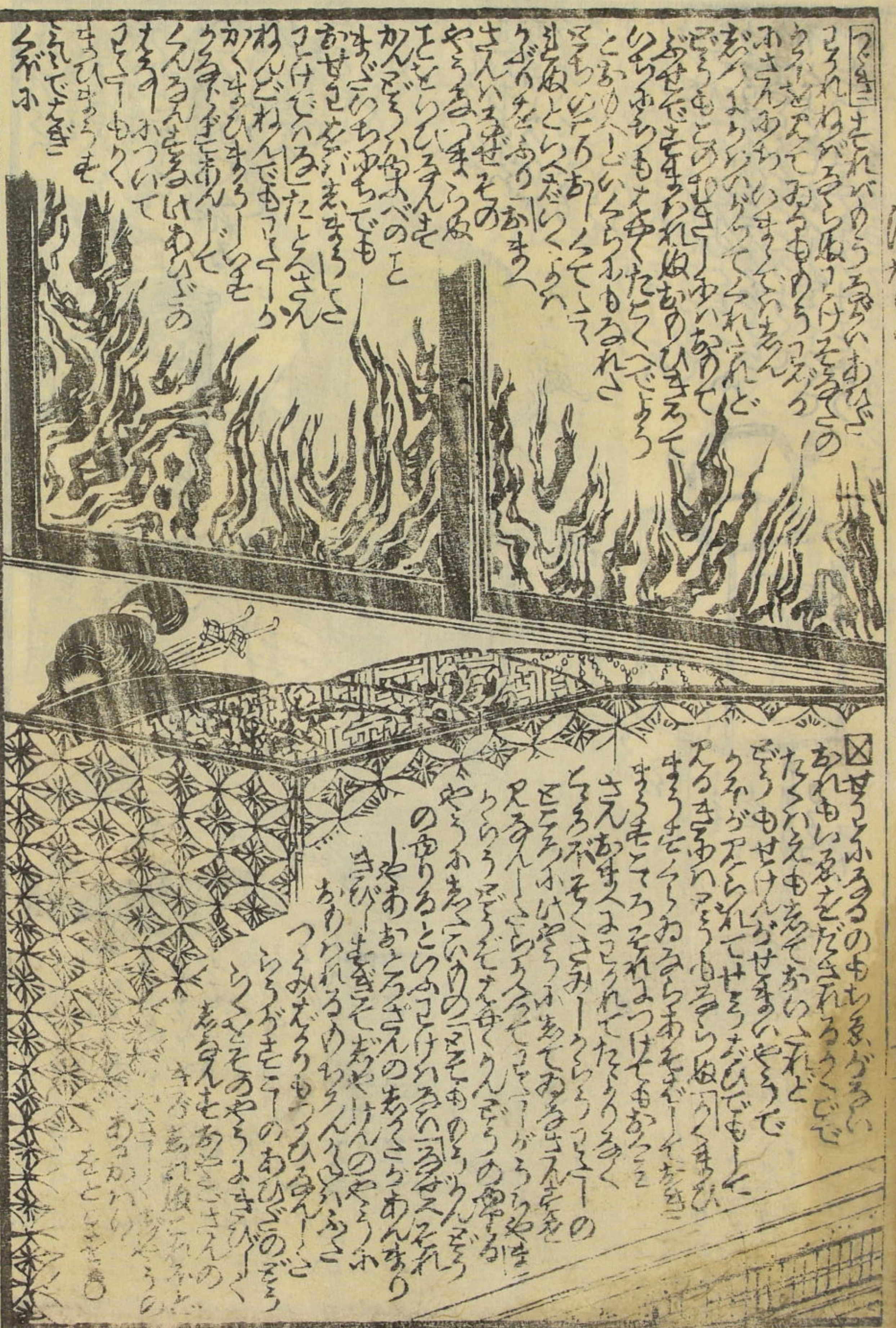
^13
3858
3





あつちかき
 さんのであつち
 さんのかつち
 りんちかき
 さんのかつち
 さんのかつち
 さんのかつち

あつちかき
 さんのであつち
 さんのかつち
 りんちかき
 さんのかつち
 さんのかつち
 さんのかつち



あつちかき
 さんのであつち
 さんのかつち
 りんちかき
 さんのかつち
 さんのかつち
 さんのかつち

あつちかき
 さんのであつち
 さんのかつち
 りんちかき
 さんのかつち
 さんのかつち
 さんのかつち



下
 春
 組
 世

下
 春
 組
 世



下
 春
 組
 世

下
 春
 組
 世

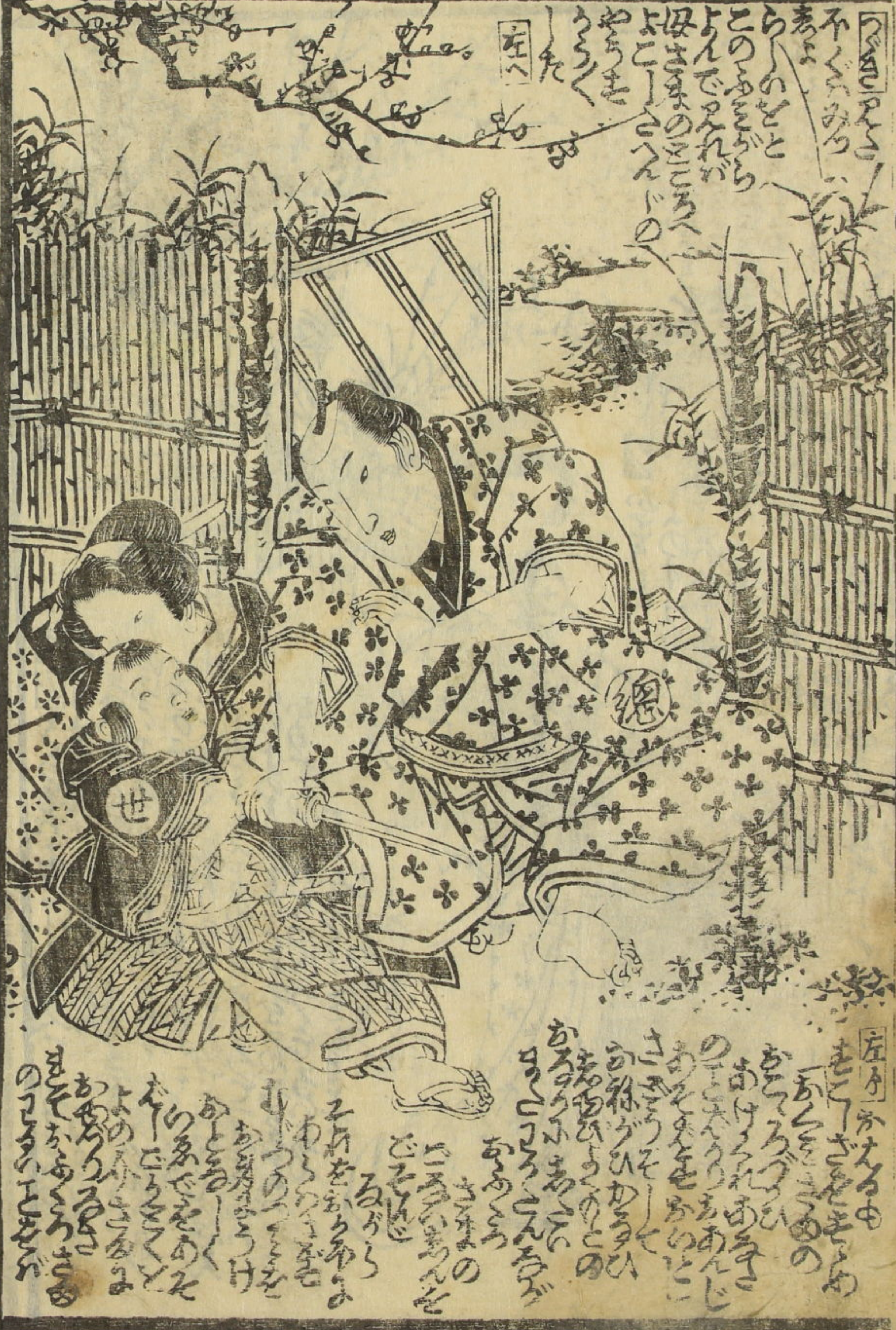


ついでに...
あつた...
あつた...
あつた...

あつた...
あつた...
あつた...

あつた...
あつた...
あつた...

あつた...
あつた...
あつた...



あつた...
あつた...
あつた...

あつた...
あつた...
あつた...

あつた...
あつた...
あつた...

あつた...
あつた...
あつた...



左のしる

右のしる



左のしる

右のしる

